

# 第4回

# あづち・はちまん ふるさと検定

<上級・全66問>

試験問題・解答用紙

# 解答

2024年10月13日(日)

はちまん・あづち ふるさとアカデミー

# 解答方法

● 問題用紙と解答用紙は同じ紙です。

● 「上級」は、以下の3種類の問題形式があります。

---

---

□ は筆記解答 : ( )内に入る最も適当な語句・人名・数字などを書きなさい。

■ は4択解答 : ①～④から最も適当な番号を選びなさい。

◆ は長文筆記解答 : 条件に従い、指定文字数以内で書きなさい。

---

---

● 問題は以下の分野に分かれています。

**A** 歴史・遺跡    **B** 伝承・説話    **C** 建築・社寺    **D** 教育・文化

**E** 自然・地理    **F** 生活・環境    **G** 祭礼・行事    **H** 産業・商人

● 当検定では、安土・八幡の町の発展の基礎をつくった功労者として、織田信長豊臣秀次の両武将には特に、尊称として名前の後に「公」をつけています。解答にあたってあらかじめご承知おきください。

## 試験時の注意事項

● 机の上には、受験票、筆記用具、時計 以外のものは出さないでください。

● 携帯電話は電源を切るかマナーモードにして、カバン等にしまってください。

● 具合の悪くなった方は、挙手にて試験官にお知らせください。

● 試験時間は 15 : 10 までですが、試験開始 30 分が経過した後は解答を終わった人は問題 兼 解答用紙を閉じ、退室しても構いません。一度退室したら、再入室はできません。

● 試験終了 15 分前、5 分前には試験官がお知らせします。

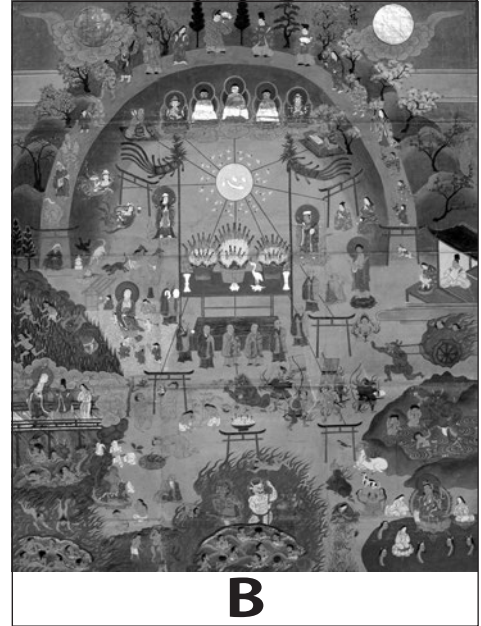
● 受験票はお持ち帰りください。

**A** 歴史・遺跡にかかわる問いに答えなさい

■ I. 中世から近世にかけ、寺院や神社は信者の拡大を目的に、各地を巡り参詣案内の大型絵画を展覧して人々へ絵解きを行いました。



**A**



**B**

1. 写真A、Bは共に長命寺山内に保管されていた絵解き用の絵画です。Aは参詣の様子を示す「長命寺参詣曼荼羅」。Bは人の一生と信心の大切さを説く題材となった絵画です。何と呼ばれるでしょう。

1. **1**

- ①熊野観心十界図                      ②熊野聖衆来迎図
- ③仏界総覧図                            ④両界曼荼羅

2. Aは兵火で焼亡した長命寺の再建を図るため寄付を集める尼僧らの活動にも用いられました。画面には寄付を受ける境内建物が描かれています。何と呼ばれるでしょう。

2. **1**

- ①勧進所                      ②供物坊                      ③賽銭所                      ④喜捨請所

3. 寄付を受ける建物は尼僧たちの拠点となり、やがて独立した寺に発展しました。何という寺でしょう。

3. **2**

- ①喜捨院                      ②穀屋寺                      ③勧進寺                      ④金米院

□Ⅱ. 千僧供町の供養塚古墳は（ 4 ）世紀後半ごろの築造とされ、近隣の住蓮坊古墳、トギス古墳など共に（ 5 ）古墳群を形成しています。供養塚古墳の形式は前方後円墳とみられていましたが、詳しい調査で（ 6 ）



形古墳と分かりました。出土品として、力士や巫女、馬や鳥、家型などの形象埴輪（写真）が多数見つかりました。副葬品の武具には当時、最新式の鉾留めによる（ 7 ）があり、太刀や鉄剣、鏡も出て いることから、被葬者は大和王権と近い高位の人物ではないか、とみられます。

4. <b>5</b>	5. <b>千僧供</b>	6. <b>帆立貝</b>
7. <b>よろい or 短甲 or 甲冑</b>		

■Ⅲ. 八幡山山頂にある瑞龍寺は別名、村雲御所と呼ばれる尼門跡寺院として400年以上の歴史を刻んでいます。京都から昭和37年（1962）に移転して来ました。

8. 初代門跡の日秀尼公は豊臣秀次公の実母です。息子たちの菩提を弔うため、日秀尼公が最初に小堂を開いたのはどこですか。

- ①高野山    ②京都・嵯峨    ③京都・東山    ④近江八幡

8.  
**2**

9. 2世門跡の日怡尼は、日秀尼公のひ孫にあたります。では日怡尼の母親はだれでしょう。日秀尼公の二男秀勝の娘で、九条家に嫁いだ人です。

- ①完子    ②お江    ③茶々    ④お初

9.  
**1**

10. 江戸時代の初め、洛中（西陣）にあった瑞龍寺に、二条城の客殿を寄進した徳川将軍はだれでしょう。

- ①家宣    ②秀忠    ③家光    ④家綱

10.  
**3**

11. 小笠原家出身の12世門跡日英尼とともに昭和40年に瑞龍寺に入山。後に13世門跡になった日鳳尼は、元宝塚や新派の女優さんでした。当時の芸名はどれでしょう。

- ①森赫子    ②桜緋紗子    ③小夜福子    ④園井恵子

11.  
**2**

**B** 伝承・説話にかかわる問いに答えなさい

□ I. 宇津呂町の、( 12 ) 八幡神社(呉の宮)には、境内の神池で足を洗うと( 13 )にならない、とする言い伝えがあり、毎年初夏に足洗い行事があります。かつてこの神社には、遣唐大使を務めた人物( 14 )の肖像画が安置され、元の祭神はこの人物ではなかったか、とも言われます。ここにはまた、日本に機織技術を伝えたという渡来系の女性、呉姫と( 15 ) 姫の伝説も残っています。2人は日本書紀に呉織(くれはとり)、穴織(あやはとり)の名で登場する縫女と比定されることがあります。

12. <b>公禮(礼)</b>	13. <b>しもやけ</b>	14. <b>吉士長丹 or 呉長丹</b>
15. <b>綾 or 漢</b>		

■ II. 沖島には、室町幕府8代将軍足利義政の正妻・日野富子らによって京都から流されて来た女性の悲劇が語り伝えられています。

16. 女性は義政の側室で、富子から恨みを受け沖島で刺客に殺害(護送中に自害とも)されたといえます。女性とはだれでしょう。

- ①於辰の方    ②牧の方    ③北山局    ④今参局

16.  
**4**

17. 女性は一人娘を連れていたと伝わります。刺客に捕まり危ういところを助けられたという娘の名はどれでしょう。

- ①桜子    ②加賀女    ③お夏    ④千代女

17.  
**1**

18. 娘を題材に昭和34年(1959)、新聞小説を書いた作家はだれでしょう。

- ①吉川英治    ②大佛次郎    ③童門冬二    ④柴田錬三郎

18.  
**2**

■ III. 元龜元年(1570)3月、尾張から京都へ向かう織田信長公は途中、安土に留まり、近江の国中の力士を集め常楽寺で相撲をとらせました。

19. 「信長公記」はこの時、最後まで勝ち抜いた2人が家臣に召し抱えられ、相撲奉行に任じられたと記します。鯨江又一郎と、もう一人はだれでしょう。

- ①木村重章 ②青地与右衛門 ③永田正貞 ④阿閉貞大

19  
2

20. 安土・下豊浦の東家に残る古文書は、大竹をねじり合う「竹相撲」の由来に触れ、信長公の御前で2人が闘ったと記しています。力闘した2人は信長公から賞され共に「氏」を下されたといひます。「東」の氏を下されたのはだれでしょう。

- ①西馬次郎 ②伝蔵 ③勘八 ④づこう

20  
2

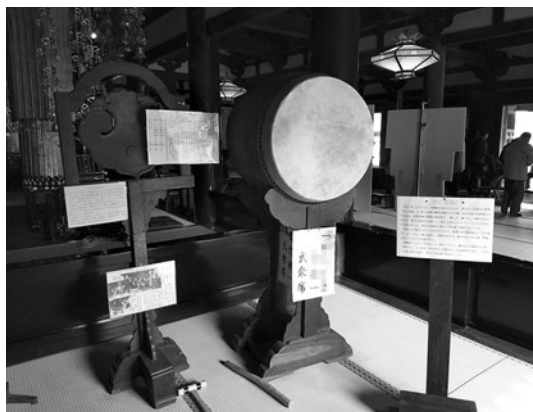
21. 東家には、この時の勝負で引きちぎられた竹で作ったという道具が今も残されています。どれでしょう。

- ①茶筌 ②竹籠 ③花入れ ④網代板

21  
3

**C** 建築・社寺にかかわる問いに答えなさい

□ I. 写真の太鼓は安土の浄土宗寺院（ 22 ）にあり、毎年秋に約 450 年前の出来事を記念して信者らが（ 23 ）念仏を唱える時に使用されます。天正 7 年 5 月、この寺で（ 24 ）宗と（ 25 ）宗による宗教論争が行われた時に、勝利した側の信者らが喜んで鉦や太鼓を打ち鳴らしたのが始まりと



伝わります。論争を裁定したのは信長公でした。この論争は、歴史上、（ 26 ）と呼ばれます。相手を論破して勝利した（ 27 ）上人は、後に秀次公から八幡町に土地を寄進され寺を開きました。それが現在、中村町にある（ 28 ）寺です。（ 27 ）上人は論争から 16 年後の文禄 4 年 8 月、京都の（ 29 ）河原で、秀次公一族が処刑された際、妻妾、幼児たちに引導を授けたことでも知られます。

22. <b>浄厳院</b>	23. <b>かちどき</b>	24. <b>浄土 or 日蓮・法華</b>
25. <b>日蓮・法華 or 浄土</b>	26. <b>安土問答(宗論)</b>	27. <b>貞安</b>
28. <b>西光</b>	29. <b>三条</b>	

■ II. 安土にある旧伊庭家住宅は、伊庭貞剛の四男、慎吉が沙沙貴神社の神主に就いた後、大正 2 年 (1913) から移り住んだ住宅です。



30. 主体部の外観は何という様式でしょう。

- ① チューダー様式                      ② ハーフティンバー様式
- ③ ゴシック様式                        ④ マヌエル様式

30  
**2**

31. 1階は、和風を基調としています。ジャパニーズルームと呼ばれる部屋の襖絵「春の図」を描いた画家はだれでしょう。

- ① 竹内栖鳳      ② 山元春挙      ③ 高倉観崖      ④ 中馬興丸

31  
**3**

32. 傾斜の強い切妻屋根は何で葺かれていたでしょう。

- ① 赤瓦      ② 金属瓦      ③ テラコッタ      ④ 天然石スレート

32.  
**4**

**D** 教育・文化にかかわる問いに答えなさい

■ I. 写真は繖山の中腹に所在する寺院の建立に関わる縁起を描いた絵巻です。



33. 寺院とは次のどれでしょう。

- ① 平等寺    ② 桑実寺    ③ 観音正寺    ④ 教林坊

33.  
**2**

34. 絵巻が制作されたのは、当時の室町幕府の将軍が戦乱を避け、この寺院に避難、滞在したことによります。将軍とはだれでしょう。

- ① 足利義晴    ② 足利義澄    ③ 足利義教    ④ 足利義材

34.  
**1**

35. 制作は将軍の発願で、当時の美術界の第一人者といわれる宮廷絵師が筆を振りました。だれでしょう。

- ① 土佐光則    ② 土佐光起    ③ 土佐光茂    ④ 土佐光信

35.  
**3**

■ II. 江戸時代に平安和歌四天王と呼ばれた一人、伴蒿蹊は文芸に熱心な家筋の伴莊右衛門家5代目でした。

36. 蒿蹊の先代、4代目資之が屋敷に施設を備え、修練に励んだ技芸は何でしょう。

- ① 小弓    ② 打毬    ③ 蹴鞠    ④ 貝合せ

36.  
**3**

37. 蒿蹊が私淑した歌道の師はだれでしょう。

- ① 北村季吟    ② 武者小路実岳    ③ 澄月    ④ 慈恩

37.  
**2**

38. 文芸活動に専念するため蒿蹊が36歳で、近江八幡から転居した先はどこでしょう。

- ① 大津    ② 大坂    ③ 京都    ④ 江戸

38.  
**3**

39. 晩年の蒿蹊が、八幡山からの眺望を10名所に分けて歌に詠んだ作品はどれでしょう。

- ① 湖東十景    ② 八幡憧景    ③ 郷里遠望    ④ 幡山十景

39.  
**4**



- III. 「近江商人の士官学校」とも呼ばれた八幡商業学校（八商）は、海外発展につながる教育として明治 41 年、教科の一つに（ 40 ）を採用しています。海外修学旅行も行われ、行商計画には当時の外務次官（ 41 ）もアドバイスをしていました。前身の滋賀県商業学校、滋賀県立商業学校の時代から、授業では行商体験学習を行い、その伝統は（ 42 ）の名称で、現在も八幡商業高等学校に受け継がれています。

40. （ 40 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①中国語 ②モンゴル語 ③朝鮮語 ④英語

40.

1

41. （ 41 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①青木周蔵 ②原敬 ③小村寿太郎 ④鳩山和夫

41.

3

42. （ 42 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①八幡商人行商演習 ②近江商人行商演習  
③八幡商人再生プロジェクト ④近江商人再生プロジェクト

42.

4

## E 自然・地理にかかわる問いに答えなさい

- I. 千僧供町の国道8号交差点にも残る地名「六枚橋」は、江戸時代に中山道に板石6枚の橋が架かっていたことに由来するとされます。

43. 板石は、この辺りの領主、永井尚政が江戸時代初めに架けたことが分かっています。尚政は当時、どこの藩主だったでしょう。

- ①大森藩 ②淀藩 ③仁正寺藩 ④山上藩

43.

2

44. 板石が切り出された山はどこでしょう。

- ①長光寺山 ②雪野山 ③織山 ④岩倉・長福寺山

44.

4

45. 西に向かう中山道は、六枚橋辺りでは国道8号と重なっていますが、国道上のある地点で北へ外れます。ある地点とはどこでしょう。

- ①東川町 ②八幡神社前 ③馬淵町中 ④千僧供町

45.

2

46. 江戸時代の中山道は、東横関辺りで日野川を越えていました。旅人たちは、何を利用して川を渡ったでしょう。

- ①木造橋 ②石橋 ③船橋 ④川越え人足

46.

3

- II. 安土の内野営農組合は、他の農事組合法人と「JA グリーン近江老蘇集落営農連絡協議会」をつくり、平成22年(2010)に( 47 )の栽培を始めました。また、労働安全管理の強化と地域の環境保全、食品安全のリスク管理を目的に平成29年、米の( 48 )を取得しました。( 48 )は、「持続的な生産活動」を実践する優良企業に与えられる世界共通ブランドです。平成30年には、小麦、大麦、( 49 )でも取得しています。

47. ( 47 )に入る語句は次のどれでしょう。

- ①パイナップル ②アボカド ③キウイフルーツ ④マンゴー

47.

4

48. ( 48 )に入る語句は次のどれでしょう。

- ①GLOBALG.A.P. ②FSS ③ISO ④FSMA

48.

1

49. ( 49 )に入る語句は次のどれでしょう。

- ①ねぎ ②小豆 ③大豆 ④とうもろこし

49.

3

## F 生活・環境にかかわる問いに答えなさい

- I. 安土の郷土料理( 50 )は、日常食のほか、報恩講や下豊浦地区の( 51 )で代参者を迎える際などに定番としてふる舞われる伝統食です。味噌汁の一種ですが、特徴は茹でた( 52 )を一粒ずつ木槌で叩き、花が咲いたような形にして味噌とともに汁に入れる点。具材にはズイキや豆腐、油揚げなどが使われます。信長公ゆかりの料理とされますが、それは( 52 )を潰した形が、織田家の家紋( 53 )に似ているから、とする説もあります。

50. ( 50 )に入る語句は次のどれでしょう。

- ①打ち豆汁 ②豆かす汁 ③叩き豆汁 ④信長汁

50.

1

51. ( 51 )に入る語句は次のどれでしょう。

- ①伊勢講 ②愛宕講 ③金毘羅講 ④行者講

51.

1

52. ( 52 )に入る語句は次のどれでしょう。

- ①小豆 ②大豆 ③粟 ④そら豆

52.

2

53. ( 53 )に入る語句は次のどれでしょう。

- ①織田桔梗 ②沢瀉 ③梅鉢 ④織田木瓜

53.

4

**G** 祭礼・行事にかかわる問いに答えなさい

■ **I.** 千数百年の歴史が伝承される八幡祭りをはじめ、市内の火祭りは「近江八幡の火祭り」として国選択の無形民俗文化財になっています。

54. 次の行事で、国選択の無形民俗文化財に含まれないのはどれでしょう。

- ①左義長祭り                      ②小正月の各村々のサギチョウ  
③円山の葦焼きまつり          ④篠田神社の花火

54.  
**3**

55. 八幡祭りでは上の郷と下の郷の松明奉火が始まると、南津田町の「ヨートナー」の掛け声とともに、日牟礼八幡宮楼門前で小型の松明による様式美豊かな演舞が始まります。この所作を何というでしょう。

- ①ろうそく松明      ②引きずり松明      ③振り松明      ④松明立て

55.  
**3**

56. 登場する松明のうち、今日では見られなくなったのはどれでしょう。

- ①笠松明    ②徳利松明    ③ゴンボ松明    ④稚児松明

56.  
**4**

57. 八幡祭りは、1日目の松明祭り、2日目の太鼓祭りに続き、3日目の行事で締めくくります。締めくくり行事を何と呼ぶでしょう。

- ①大名渡り      ②シユウシ      ③須寺渡り      ④まいじらの神事

57.  
**3**

58. 八幡祭りの区域である日牟礼十三郷は、農業用水の水源池「井之島」の利用区域に重なります。当時から井之島が位置する郷（町）が、祭りの先導的な役割を果たしてきました。現在のどこでしょう。

- ①多賀町      ②鷹飼町      ③土田町      ④宇津呂町

58.  
**2**

59. 各郷で行われる地下（じげ）の小祭りの中に、今日では途絶えている稚児行事など貴重な伝統儀礼を今に伝える郷があります。どこでしょう。

- ①北之庄町      ②中村町      ③大林郷      ④市井

59.  
**1**

**H** 産業・商人にかかわる問いに答えなさい

■ **I.**江戸時代から八幡商人が扱った商品の一つに魚肥(干鰯=ほしか)があります。かつて、干鰯は近江の農家にとっては必需品でした。

60. 江戸中期からは八幡の間屋が集まる干鰯仲間が結成されました。仲間に加わっていない商人はだれでしょう。

60.

4

- ①納屋九兵衛      ②納屋長兵衛      ③簾屋喜兵衛      ④伴伝兵衛

61. 上記①～④の商人のうち、屋号の一部をそのままに、業種を替え現在も八幡堀沿いの新町浜で営業しているのはどの家でしょう。

61.

3

62. 干鰯が近江へ流入する初期のルートは3つありました。北陸、大阪ともう一つはどこでしょう。

62.

1

- ①伊勢      ②東北      ③瀬戸内      ④九州

63. 明治になると干鰯仲間は解散します。明治19年(1886)、産地直送による価格低廉化を図って新たに近江八幡に設立された魚肥の配給会社は、どれでしょう。

63.

4

- ①八幡配給会社      ②新興商会  
③干鰯事務組合      ④中一商会

64. 設立された配給会社で取締役兼支配人を務めたのはだれでしょう。干鰯商人の8代当主で勤皇運動に加わり後に基督教に傾倒。紡織事業や銀行経営でも名を馳せました。

64.

3

- ①西川貞二郎      ②井狩弥左衛門      ③高田義甫      ④西川吉輔







